

事業計画書

①団体名	「倉敷のかあさん」MammaCafe
②事業名	ひきこもり、不登校を減らすための就労体験事業
③テーマ区分	*いずれかにチェックし、指定テーマの場合は番号を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 指定テーマ(番号: 2) <input type="checkbox"/> 自由テーマ
④補助回数	*同一事業における補助回数(年数)について、いずれかにチェック <input checked="" type="checkbox"/> 1回目 <input type="checkbox"/> 2回目 <input type="checkbox"/> 3回目(経過措置) <input type="checkbox"/> 4回目(経過措置)
⑤現状及び課題	<p>当団体は、主に不登校・引きこもりの若者を支援対象としており、事業の性質上、支援対象者からの受益者負担が難しいため、カフェ運営等による収入と、補助金収入が主な財政基盤となっている。</p> <p>設立以来、スタッフがボランティアで活動を続けてきたが、自治体との協働事業や委託事業の採択を受けても、人件費に充当できる割合は非常に限定的であり、人を雇用することが難しいのが課題である。</p> <p>カフェ運営による自主事業の収入があるものの、週1～2回の開催に留まっているため、連日営業している一般的な飲食業のように利益確保が難しいところである。</p> <p>上記の理由により、活動場所及び活動人員(引きこもりの若者を含む)が増えることによる財政的な負担を少しでも軽減するため、本事業の助成が必要である。</p> <p>又、活動の発展として小学生のお仕事体験の場を開催する為の準備費用が必要である。</p> <p>不登校及び引きこもり傾向にある若者や発達障害を持っている子供たちは、個々の個性が強いため社会になじみにくく、アルバイトや就労体験をするための機会や情報が得られにくい状況であり、課題となっている。</p> <p>一般的なカフェ等では、就労体験をする余裕がなく、店舗側も自信を無くしている人達に関われるノウハウが必要であるため、就労体験の受入が進んでいないのが現状である。不登校・引きこもり支援のノウハウを持つ団体による活動が必要とされている。</p> <p>2020年の統計によると、自殺者は、平成21年以降、減少傾向にあったが、令和2年度においては増加しており、特に、女性と若年層(特に20代)が増加している(厚生労働省・警察庁発表資料令和3年3月16日)。「新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、経済的な苦境に追い込まれたり、孤立に陥ったりする人が増えているとみられる。」などが指摘されている(日本経済新聞2021年3月16日)。特に、緊急的な対策が必要である。</p>
⑥事業目的	<p>本事業では、倉敷美観地区近隣での中間的就労体験の場の開催を行うものとする。社会との接点や活動の場を提供することにより、就労体験または更に一步手前の簡単なボランティアに参加することで、個人のペースに合わせてゆっくりと就労体験をするとともに、人との関わりに対する自信にもつながり、アルバイトや就労の機会を得ることができる。</p> <p>又小学生のお仕事体験に上記若者が係わる事で彼らの自信にもなる。</p>

	<p>(彼らの中には自信をなくしているだけで、子どもとの係わりで自信を取り戻す場合が多い。子どもとの係わりが得意な人も少なくない)</p>
<p>⑦事業内容</p>	<p>事業項目 1</p> <p>※位置づけ(狙い)、内容、受益者(対象者)、実施地域、実施方法など</p> <p><就労体験></p> <p>就労体験は以下の3つのステップを行う。</p> <p>(1) 週1回1時間の就労体験 (1回2名×月4回×10ヶ月=80名)</p> <p>(2) 週1回2時間のボランティア体験 (1回2名×月4回×10ヶ月=80名)</p> <p>(3) 週1回アルバイト体験 (1回1名×月4回×10ヶ月=40名)</p> <p>合計: のべ年間200名の就労体験の受入をおこなう。</p> <p>不登校及び引きこもり傾向にある社会になじみにくい若者、中学生、高校生、大学生を、対象とする。</p> <p>就労体験・ボランティア・アルバイト体験の内容は「準備・片付け」「接客」「チラシポスティング」「調理補助」や地域の七夕飾り、朝市、ツーデーマーチ、他イベントの手伝いなどを行っている。</p> <p>それぞれの対象者を受け入れるにあたり、スタッフがついて対応を行う。</p> <p>(高梁川流域への展開)</p> <p>倉敷市内の拠点や朝市等に止まらず、総社、高梁、笠岡などへの出店により、就労体験の機会を設け、各地で参加しやすい環境とする。</p> <p>出店するイベント候補・・・「古民家カフェ朝市(総社市)」、「高梁朝市(高梁市)」、「ミナトの休日(笠岡市)」など。</p>
	<p>事業項目 2</p> <p><本人・保護者面談及びしゃべり場の提供></p> <p>【本人・保護者面談】</p> <p>受入前、受入途中において、適宜、本人および保護者を対象にした、面談を行っており、体験内容に加えて、生活環境の状況変化や心と体の状態について、ヒアリング等を実施し、本人や保護者への助言を行っている。必要に応じて、専門家への紹介を行う。</p> <p>就労体験後のアンケートや、保護者、関係者への聞き取りを行い、評価・改善を行っていく。</p> <p>【しゃべり場の提供】</p> <p>コロナの影響もあるのか不登校・引きこもりの数が増加傾向にある。不登校・引きこもり傾向にある若者に寄り添い、彼らが集える場所・しゃべれる・ホットできる場が必要である。その様な機会を持つ場づくりにも取り組んでいる。</p> <p>本補助事業を活用して、しゃべれる・ホットできる場であることに加えて、相談員(ソーシャルワーカー)を入れて、相談できる場にもなり、安心して集える場づくりに取り組む。</p>

	<p>頻度：随時（毎月1回程度） 対象者：就労体験をしようとする高校生、大学生など 方法：倉敷市内の拠点での面談、もしくはオンラインでの面談</p> <p>事業項目3</p> <p><小学生向けお仕事体験ワークショップ> 昨今、子どもたちの体験格差が生じている。子どもたちからの成功体験や充実感を得る事で色々な可能性を見いだす事は、大きく本人の自信にもつながり、「生きる力」になると考えられる。そこで小学生のお仕事体験のワークショップも取り組む。</p> <p>将来、不登校や引きこもりになる可能性を低減させる。</p> <p>小学生向けのお仕事体験については、取り組み1・2で参加する高校生や若者が参加できる場とすることで、社会参加の一つの機会を創出する。 子どもたちとの交流を通じ、また役割を通じて、自己肯定感を高め、地域や社会と関わるきっかけの一つとする。 ネットワークに向けて準備期間とする。</p> <p>*天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応</p> <p>オンラインでも可能なテレワークによる、就労体験の機会を提供する。 面談等についても、オンラインで実施する。</p>
<p>⑧事業の条件及びアピールポイント</p>	<p>先進性、先駆性、独創性</p> <p>常設の拠点を利用し、また、出張カフェ、イベント出店など、多様な就労体験の機会を提供している。 収益性に関して、現段階では収支の把握が困難なため、2023.4～3カ月を目安に集計し、自立的な事業実施に近付けられるよう計画する予定である。</p> <p>また、不登校や引きこもりの支援者や団体と、協力関係を構築しており、本人の状況などに応じて、支援機関と繋いだサポートが可能となっている。テレワーク支援団体と連携して、オンラインやICTを活用した働き方についてのサポートにも取り組んでいる。</p> <p>備中地域への波及効果</p> <p>今までに、沢山の方々から高い評価と期待を得ており、それらのノウハウを他地域での横展開を行っていく際にも生かせると考えている。 倉敷市以外の市町へのイベント出店、地域のNPO団体等とのつながりの強化などにより、幅広いエリアの対象者が参加可能となる。</p> <p>県民局との協働による相乗効果</p> <p>とりわけ、倉敷市以外での市町では、知名度が高くないが、チラシなどでも、協働事業であることを明記することで、事業に参加する保護者や関係者に社会的信用をもって参加していただける。ここを入り口として、当団体は生きづらさを感じている児童・生徒・青年とまずは小さな社会との架け橋役を担い、貴局は、イベントの参加先や他機関の情報提供を行っていただきたい。この流れができ一般への認知度が上昇することで、ミクロでは、本人や</p>

	<p>保護者などの体験の場の選択肢が拡がり、マクロでは、国内での支援モデル化、協賛企業の増加、類似事業の活性化などに繋がっていくと考えている。</p>
	<p>その他、団体の持つ専門性やノウハウ等</p> <p>申請団体の代表者も、不登校の親の会で、10年以上にわたり、対話の場を設けるなど、活動しており、経験を積んでいる。</p>
<p>⑨今年度に期待される成果・効果 (短期アウトカム)</p>	<p>県民(対象者)</p> <p>就労体験について、倉敷市内からの参加者、倉敷市以外からの参加者を得る。本年度については、つながりのある団体で、倉敷市内を中心に体験の紹介や受け入れを継続的に行う。本事業を実施することにより、引きこもりの当事者が就労の場を通じて社会的に復帰ができるだけでなく、その家族の心理的・経済的な負担を和らげることができる。また、家族と同じように不登校の生徒に悩む学校の先生や、地縁的なつながりのある近所の住民にもプラスの効果が期待でき、同じ課題に取り組む地域外の団体へのノウハウ移転や本事業の成果を活かした事業展開を図る。更に、事業を継続していくことで、引きこもりの若者や就労支援に対する地域の理解が深まり、彼らを雇用する企業やお店が増えていくことが期待される。</p> <p>団体</p> <p>倉敷市内及び高梁川流域の朝市などへの出店により、認知度を高めることができ、好循環が期待できる。企画・支援の幅などのスキルアップが実践的に図れる。(PDCAの継続)</p> <p>内部スタッフの経験を高めることができる。</p> <p>備中地域</p> <p>チラシの配布や、広報を通じ、PRができる。不登校や引きこもりの支援活動が実施されていることを周知することができる。</p>
<p>⑩将来的に期待される成果・効果 (中・長期アウトカム)</p>	<p>県民(対象者)</p> <p>子どもの頃からの、成功体験・達成感をもつことで、大きな自信にもつながり、不登校・引きこもりの予防的処置にもなる。本人、家族にとって外出(社会とつながる)機会になり得る点が多い。外出の機会が増加し、習慣となることで、短時間の就労や、被支援者から支援者(ピアサポーター)への移行、本人の自立と社会とのつながりの広がりになる、と想定している。</p> <p>団体</p> <p>今までに、沢山の方々から高い評価と期待を得ており、それらのノウハウを他地域での横展開を行っていく際にも生かせると考えている。一通り業務をこなせる人材が増加することで、拠点を増やし、より広域で活動できるようになる。受け入れ態勢が整うことで、市外に向けての参加者の募集や、市外でのイベント参加や児童・生徒・青年の受け入れにも手を広げることができる。同目的の企業との連携も視野に入れる。</p> <p>備中地域</p> <p>中長期的には、若者の引きこもり問題だけではなく、50-80問題など介護などにも影響が及ぶような大きな課題にも予防的な措置として引きこもり当事者の自立を支援していくことが期待できる。</p>
<p>⑪今年度の成果目標と</p>	<p>成果目標 1</p> <p>目標・・・拠点となる倉敷市において、不登校・引きこもり傾向</p>

評価指標	にある若者の参加を得て、社会参加の一助となす。 指標・・・倉敷市内からの就労体験の参加人数		
	評価指標・測定方法	数値目標	
		現状	今年度
	参加人数	150	200
成果目標 2	目標・・・倉敷市以外の備中圏域に取り組みを普及させる。 指標・・・倉敷市以外の備中県民局管内からの就労体験のイベント参加人数		
	評価指標・測定方法	数値目標	
		現状	今年度
	イベント参加人数	0	3
成果目標 3	目標・・・小学生お仕事体験ワークショップの開催に向けての会議をする 指標・・・上記目的の為のネットワーク作りの会議の開催（回数）		
	評価指標・測定方法	数値目標	
		現状	今年度
	実施回数を数える	0	1
⑫中・長期的な成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の認知度の向上 ・拠点での定期的なカフェ運営の強化 ・倉敷市内、あるいは倉敷市外でのイベント等への出店強化など 		
⑬事業展開の予定	(事業年度) 5月・・・年間出店計画の策定、チラシの作成・配布など 5月～年間・・・定期的な拠点での活動、随時イベント出店など 随時・・・面談の実施 9～11月ごろ・・・次年度の予定計画 2～3月・・・報告書の作成 (事業年度以降)		
⑭役割分担	団体		
	<ul style="list-style-type: none"> ・就労体験の場の提供 ・参加者の募集、活動の啓発 ・報告書の作成など 		
	県民局		
	<ul style="list-style-type: none"> ・倉敷市以外の市町の担当部署、団体の紹介 ・関係機関の紹介 ・広報面での連携（ラックでのチラシの設置、ラジオ番組への出演機会の調整など） 		
その他の連携・協力団体（組織・団体名：_____）			
<ul style="list-style-type: none"> ・倉敷不登校ネットワーク、NPO法人KUKKA、岡山高等学院との連携（不登校支援での連携） ・一般社団法人高梁川プレゼンターレとの連携（テレワーク、オンラインでの仕事体験での連携） 			

<記入上の注意事項>

- 1 各項目は、簡潔かつ明瞭に記入してください。
- 2 「④補助回数」欄の3回目及び4回目は、経過措置規定を適用した上で、令和2年度事業に採択された事業を令和3年度以降も継続実施している場合のみ選択ができます。
- 3 「⑤現状及び課題」欄は、事業実施の要因となる地域課題や問題点、社会的背景等について記入し

- てください。なお、根拠となる統計データや当事者の声などがあれば、それも示してください。
- 4 「⑥事業目的」欄は、事業を通じて実現したいこと、目指す将来的な姿（社会、経済、生活、環境等）について、「⑤現状及び課題」、受益者（対象者）等を踏まえて記入してください。
 - 5 「⑦事業内容」欄は、課題解決や「⑥事業目的」における位置づけ（狙い）とともに、内容、受益者（対象者）、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに具体的に記入してください。また、天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応（代替案の検討、事業縮小、事業中止等）についても併せて記入してください。なお、事業項目数は適宜追加いただいて構いません。
 - 6 「⑧事業の条件及びアピールポイント」欄は、事業条件としている広域性又は先進性、先駆性と協働による相乗効果に関すること、団体の持つ専門性やノウハウ等のアピールポイントについて具体的に記入してください。なお、先進性、先駆性は、他地域での先進例や成功例等もあれば、それも参考として記入してください。
 - 7 「⑨今年度に期待される成果・効果」欄は、事業実施により得られる今年度の利益や変化等について記入し、「⑩将来的に期待される成果・効果」欄は、事業を継続して行うことで、将来的に得られる利益や変化等について記入してください。
 - 8 「⑪今年度の成果目標と評価指標」欄は、今年度事業で目指すところ（短期の成果目標）を個別・具体的に3つ程度記入するとともに、事業を評価するための指標と、実施前（現状）と実施後（目標）の数値を記入してください。また、事業を継続される場合は、翌年度若しくは数年後（目標）の数値も参考として記入をお願いします。なお、具体的な数値が得られないもの（定性評価）についても、「何割程度の回答が得られる」などのように、できるだけ数値化し、状態の変化を測るよう努めてください。
 - 9 「⑫中・長期的な成果目標」欄は、事業を継続、段階的に拡充するなどし、中・長期的に目指すところ（中長期の成果目標）について、具体的に記入してください。
 - 10 「⑬事業展開の予定」欄は、「⑥事業目的」や「⑫中・長期的な成果目標」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源確保の手法、事業継続の工夫等について記入してください。
 - 11 「⑭役割分担」欄は、協働協定書に基づく提案団体及び備中県民局の役割を簡潔に記入するとともに、その他の連携・協力団体の役割等を記入してください。
 - 12 記入箇所が不足する場合は、必要に応じて行挿入等を行ってください。

日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
R5.5～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労体験 (1) 週1回1時間の就労体験 (2) 週1回2時間のボランティア体験 (3) 週1回アルバイト体験 (随時継続) ・ 上記に関わる面談(随時) ・ 若者のしゃべり場 	倉敷市内他 (倉敷市内 以下略)	(1) 2名 (2) 2名 (3) 1名 2名 5名
R5.6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労体験先交渉 ・ 若者のしゃべり場 ・ チラシの作成・配布 	(倉敷市内)	2名 5名 600部
R5.7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域七夕祭り参加 ・ 就労体験先交渉 ・ 参加先イベント下見 ・ 若者のしゃべり場(講師あり) 	倉敷市中央 早島町内	10名 2名 2名 5名
R5.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労体験先交渉 ・ 参加先イベント下見 ・ (イベント名未定) ・ 若者のしゃべり場 ・ 小学生お仕事体験ワークショップ 協力団体会議 	笠岡市内 総社市内 早島町内	2名 2名 5～10名 5名 15名
R5.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者のしゃべり場 ・ ミナトの休日 	笠岡市	5名 5～10名
R5.10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者のしゃべり場(講師あり) ・ 古民家カフェ朝市 	総社市内	5名 5～10名
R5.11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者のしゃべり場 		5名
R5.12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者のしゃべり場 		5名
R6.1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者のしゃべり場(講師あり) 		5名
R6.2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者のしゃべり場 		5名

<記入上の注意事項>

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください（例：〇〇市文化センター、△△市内）。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」欄は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。